

防火ダンパー付深形フード

取付工事・取扱説明書

この防火ダンパー付深形フードは、三菱ダクト用換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合に屋外側のダクト先端に取付けてダクト配管を通して火災の広がるのを防止するためのものです。

- 防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 取付工事を始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
 なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

ステンレス製				アルミ製			
形名	特長	温度ヒューズ耐温度	適用パイプ口径	形名	特長	温度ヒューズ耐温度	適用パイプ口径
P-07VSD2		72℃	φ75	P-07VAD2		72℃	φ75
P-13VSD2		72℃	φ100	P-13VAD2		72℃	φ100
P-13VSD2-BL	優良住宅部品「BL」認定品			P-13VAD2-BL	優良住宅部品「BL」認定品		
P-18VSD2		72℃	φ150	P-13VSD2-AF	エアフロー専用	72℃	φ150
P-18VSD2-BL	優良住宅部品「BL」認定品			P-18VAD2			
P-18VSDK2		120℃		P-18VAD2-BL	優良住宅部品「BL」認定品	120℃	φ150
P-21VSD2		72℃	φ175	P-18VADK2			
P-23VSD2		72℃	φ200				

- 適用パイプの種類…スパイラルダクト・フレキシブルダクト・塩ビ管(VU)、(VP)〔塩ビ管(VP)は18、23サイズには接続不可〕

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

禁止

- 防火ダンパーを密閉または半密閉の燃焼設備（給湯機、風呂釜など）の排気ダクトには使用しない
 （誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります）

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

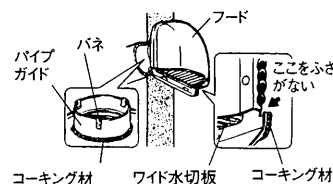
- 下水の排気口には使用しない
 （腐食によりフードが落下する恐れがあります）
- 取付けは確実に
 （落下によりけがをする恐れがあります）
- 取扱い時、手袋を着用する
 （端面などでけがをすることがあります）

指示に従い必ず行う

取付け前のお願い

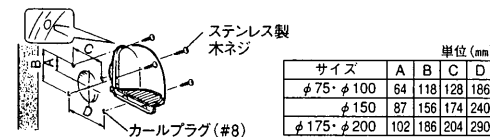
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできるところへ取付けてください。
- パイプは、配管長さ2m以上で1/100の傾斜が必要です。給気として使用する場合は、1/30の傾斜が必要です。
- バネによる取付けに支障がないようパイプが外壁まで配管してあるか確認してください。

取付方法 …取付ける前に温度ヒューズが正常に取付けられているか確認してください。



1. フードを取付ける前に、市販のコーキング材で図のようにパイプガイドに防水処理を施す。
2. 給排気口が下側になるようにして、外壁面まで配管されたパイプに差し込む。
 （バネにより固定されます）
3. フードの全周と壁面とのすき間に、市販のコーキング材で防水処理を施す。
 ●図のようにワイド水切板の上部を、コーキング材でふさがないでください。

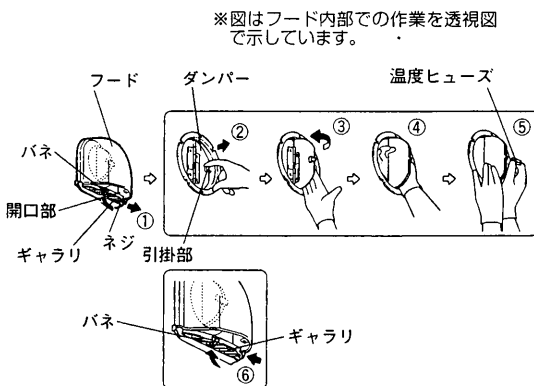
バネで取付けできない場合、または外風が強い場所に取付ける場合



サイズ	単位 (mm)			
	A	B	C	D
φ75・φ100	64	118	128	186
φ150	87	156	174	240
φ175・φ200	102	186	204	290

1. 左記の寸法表を参照して、あらかじめ外壁にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、市販のカールプラグ(#8)を挿入する。
2. フードのロックアウトのネジ穴4か所をドライバー等で抜き、市販のステンレス製木ネジ(4本)で確実に固定する。

温度ヒューズの交換 …温度ヒューズの交換は、販売店・工事店に依頼してください。



- ① ギャラリーを止めているネジ(1本)をゆるめ、手を入れてギャラリーを下に押し、バネからはずす。
- ② 開口部から手を入れて、ダンパーの引掛部にツメを掛ける。
- ③ ダンパーの片方を起こす。
- ④ 人差し指を曲げてもう片方のダンパーを起こす。
- ⑤ 両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。
 （はさみにくいときは、ラジオペンチ等を使用します）
- ⑥ ギャラリーを元通り取付ける。
 ●ギャラリーをバネに押し込む。

お願い

- 温度ヒューズの交換が困難な場合は、製品を壁面からはずして交換をしてください。
- 取付けは、**取付方法**の手順で取付けてください。

点検 点検は1年に1回を目安に次の確認をする。

- フードにサビ等の腐食がないか？
- 取付状態はフードが傾いたり、壁とのすき間が生じてないか？
- 周囲のコーキング材がはがれていないか？